

やるてば 学習コーナー

-第7号-

やるてば学習まつり ご案内・11月5日(日)

町には、いろいろな特技を持った方がたくさんいらっしゃいます。ちょこっと、その特技を覗いて、実際にやってみませんか。

「いつでも・どこでも・だれでも」

趣味や学習を行う楽しさを、多くの町民の皆さんに体験してほしいと考えています。ご紹介する内容は多くはありませんが、お祭りの出店を覗くような気持ちで、気軽にお出でください。

この取組は『生き生きフェスティバル』の内容のひとつで、他に、同会場で開催される健康展（体脂肪測定並びに介護相談等）が同時に開催されます。

日時・会場・内容等の詳細については、この広報内の『生き生きフェスティバル』のご案内をご覧ください。

小須戸町
やるてば学習マスコット
やるてば やっちゃん



遊びに来てね

ご案内・絵本の読み聞かせ

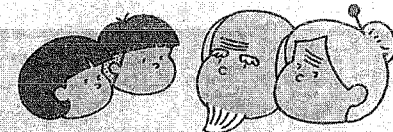
「おはなしのせかい」へ

幼児期の絵本の読み聞かせは、心を育てるために大切です。テレビとは、一味違った楽しさが味わえることでしょう。どうぞ、お気軽においで下さい。

- ★日 時 10月14日(土) 午前10時30分から
- ★会 場 中央公民館 会議室(2階・和室)
- ★対 象 幼児から小学生まで
- ★読 み 手 公民館絵本講座会員
- ★問い合わせ先 中央公民館 野崎 TEL 38-2234

全国地域安全運動

お年寄りや子どもを
交通事故から守ろう



例年、10月～11月にかけて、薄暮時（夕暮れ時）に交通事故が多発しています。日がどんどん短くなっていくこの時期には、以下のことに気をつけましょう。

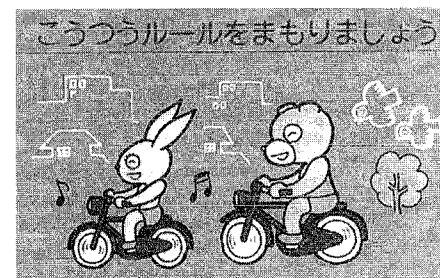
○ 自動車を運転する方

- ・スピードを控えめに
- ・早めのライト点灯
(ライトは車の存在を歩行者に気付かせるためにも必要です。)



○ 自転車に乗る方

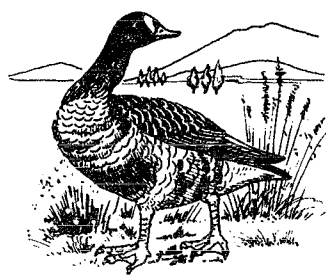
- ・早めのライト点灯（無灯火での走行は自動車の運転者から自転車の存在が見えにくくなりますので、大変危険です。)
- ・反射材の装着
- ・交差点、曲がり角での一時停止の励行



○ 歩行者の方

- ・明るく目立つ服装を（自動車の運転者に歩行者の存在を気付かせるのに必要です。)
- ・横断は横断歩道のあるところを利用する。

※ その他、わき見運転や二人乗り、無理な横断などの危険な行為は絶対にやめましょう。また、薄暮時には、特に高齢者の事故が多くなります。運転者の方は高齢者の交通に対してはゆとりをもって接するのはもちろん、高齢者の家族の方々も薄暮時、夜間の高齢者の外出に際しては一言注意の声をかけるなどして、交通事故防止を心がけましょう。



るのですが、俳句の季語である「雁渡る」は、秋を指すものです。

雁は去来期が比較的正確な渡り鳥とされています。陰暦八月を「雁来月」、陰暦九月に吹く風を「雁渡し」など呼んだのは、雁の渡り鳥としての習性に由来したものでしょう。

都会では見るチャンスが少なくなりましたが、秋真っ盛りの時期に、自然のなかをハイキングすれば、雁が渡る姿が見られるかもしれません。

十月は「全国・自然歩道を歩こう月間」です。自然と触れ合い親しむことを習慣づけるためにも、計画的に各地を歩いてみてはいかがでしょうか。

雁渡る



雁渡る こゑのあとさき
山河あり 鈴木蚊都夫
雁渡る 塩壺に匙 深く埋め 星野昌彦
雁の群れが、秋の空を竿型になつたり鉤型になつたりして飛んでいく風景は、秋の風物詩の一つです。

日本に来て越冬する雁は、ユーラシア大陸や北米で繁殖した真雁や、シベリアで繁殖したヒシクイが多く、十月ごろに飛来し、翌年三月ごろ、北に帰ります。

雁が十羽くらいいる群れで鳴き交わしながら、長い列をつくつたりV字型になつたりして秋の空を飛ぶ様子は、季節のシンボルとして親しまれてきました。しかし、最近はやま見かけなくなりました。これは、日本に飛来する雁の数が減ってきているためです。

春にも雁の北帰行が見られ